

## 5 スポーツ活動を推進する

## 20 スポーツ活動の機会の充実

①施策の展開	スポーツ活動の機会の充実	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>スポーツ指導者研修により指導者の養成に努めるとともに、<u>スポーツリーダーズバンク</u><sup>(34)</sup>制度を活用し、スポーツ活動に親しむ機会の充実を図る。また、各種団体と連携し、市民ニーズに対応したスポーツ事業の充実に努めるとともに、積極的な情報の提供を行い、スポーツ・レクリエーション活動の啓発を図る。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スポーツ指導者養成・活用事業</li> <li>(2) 市民スポーツ団体育成事業</li> <li>(3) 生涯スポーツ・競技スポーツ推進事業</li> <li>(4) 寝屋川 元気 夢 まつり支援事務</li> <li>(5) 寝屋川ハーフマラソン支援事務</li> </ul>		

④取組計画	<p>(1) スポーツ指導者を養成・活用するため、種目別講習会及びスポーツインストラクター養成講習会を実施するとともに、スポーツリーダーズバンク制度の周知に努め、スポーツ機会の充実を図る。</p> <p>また、スポーツ推進委員の知識及び技術をいかし、スポーツの実技指導等、市民にスポーツの楽しさや面白さを伝えるなど、その活動を広める。</p> <p>(2) NPO 法人市スポーツ振興連盟加盟の 26 団体（市スポーツ少年団含む）や池の里クラブ（<u>総合型地域スポーツクラブ</u><sup>(35)</sup>）と連携を図り、組織強化・自主運営の促進に努める。</p> <p>(3) 市民ウォーキング（年 2 回）、市民体育大会及び北河内・府等代表選手派遣事業を委託し、円滑に業務を遂行する。</p> <p>(4) 社会教育団体等との協働による、寝屋川 元気 夢まつりを支援する。</p> <p>(5) 市民・市民団体・行政との協働による「寝屋川ハーフマラソン</p>		
-------	--	--	--

ン」を支援し、健康増進やスポーツの振興はもとより、市域の活性化やにぎわいの創出を図る。

(1) 安全で効率的・効果的なスポーツ活動を促進するため、インストラクター養成講習会などスポーツ指導者養成・活用事業を実施した。

また、スポーツ推進委員においては、全国・近畿圏の研究協議会へ参加して資質の研鑽に努めるとともに、地域のスポーツ事業に積極的に参加し、実技指導や行事の企画運営を行った。

<スポーツ指導者養成講座等参加状況>

区 分 \ 年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
スポーツリーダーズバンク制度の活用（登録総数）	224 人	237 人	247 人
スポーツ振興連盟種目別講習会の開催（参加者数）	1,379 人	1,091 人	1,164 人
スポーツインストラクター養成講習会の開催（参加者数）	38 人	23 人	20 人

(2) NPO 法人市スポーツ振興連盟加盟の 26 団体（市スポーツ少年団含む）や池の里クラブを育成・支援するため、会議の開催等により、団体との連携・強化に努めるとともに、各種事業の推進等を通じ、組織強化や自立促進を図った。

(3) 市民ウォーキング（年 2 回）、市民体育大会及び北河内・府等大会代表選手派遣事業を実施した。

<市民ウォーキングの参加状況>

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加者数	260 人	249 人	379 人

※ 年 2 回（9 月・3 月）実施。

<市民体育大会及び北河内・府等大会の参加状況>

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市民体育大会	7,359 人	6,904 人	6,442 人
北河内地区 総合体育大会	376 人	408 人	388 人
大阪府総合 体育大会	103 人	61 人	91 人

(4) 寝屋川 元気 夢まつりを打上川治水緑地で開催した。

<寝屋川 元気 夢まつりの参加状況>

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加者数	29,702 人 (10月21日開催)	雨天中止	28,302 人 (10月19日開催)

(5) 大阪府営寝屋川公園をスタート・ゴール地点とし、市内市街地をランナーが走行した。

<寝屋川ハーフマラソンの参加状況>

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ランナー 参加者数	4,417 人	5,179 人	5,569 人
ボランティア スタッフ	1,342 人 (3月3日開催)	1,383 人 (3月9日開催)	1,388 人 (2月22日開催)

⑥評価

(1) 今後とも、市民がスポーツを安全かつ効果的に行っているよう、指導者の資質向上と、スポーツリーダーズバンク制度の周知・活用を図っていかねばならない。

スポーツ推進委員においては、スポーツ事業の実施に係る連絡調整を行い、地域スポーツの活性化や生涯スポーツの推進

に努めた。

- (2) NPO 法人市スポーツ振興連盟加盟の 26 団体（市スポーツ少年団含む）や池の里クラブに対する必要な支援と自主運営を促進したことによって、安定的な運営に寄与することができた。また、各スポーツ団体に属する市民の数が減少傾向にあるため、今後、市民ニーズの把握に努めるなど、スポーツ団体の努力等と併せ支援を検討していく必要がある。
- (3)～(5) 各種スポーツ事業（市民体育大会、北河内・府等大会、寝屋川 元気 夢まつり、寝屋川ハーフマラソンなど）を各競技団体等とともに展開し、多くの競技者・参加者を得るなど、市民の健康増進や体力の向上、市域の活性化やにぎわいの創出等を図ることができた。

## 21 スポーツ施設の整備・充実

<b>①施策の展開</b>	スポーツ施設の整備・充実	<b>課名</b>	文化スポーツ振興課
<b>②取組概要</b>	<p>市民が安全で快適に利用できるよう、市民体育館への冷暖房空調設備の設置など、スポーツ施設の整備・充実に努める。</p> <p>市民が地域でスポーツに参加できるよう、学校体育施設の活用に努めるとともに、民間などの体育施設の利用について協力を得る。</p>		
<b>③構成取組</b>	<p>(1) 市民体育館管理運営事業</p> <p>(2) 淀川河川グランド管理運営事業</p> <p>(3) 野外活動センター管理運営事業</p> <p>(4) 学校体育施設活用事業</p> <p>(5) 学校夜間照明設備管理運営事業</p>		

<b>④取組計画</b>	<p>(1) 市民体育館の指定管理者による効率的・効果的な管理運営に努めるとともに、市民が安全で快適に利用できるよう改修工事を実施する。</p> <p>(2) 淀川河川グランドにおいて、野球・ソフトボールグランド4面、少年野球場1面、多目的広場（ラグビー場）1面を開放する。</p> <p>(3) 野外活動センターの指定管理者による、効率的・効果的な管理運営に努めるとともに、市民が安全で快適に利用できるよう、自然学習室棟屋根取替工事を実施する。</p> <p>(4) (5) 学校夜間照明（5中学校）を始めとして、学校体育施設の利用促進を進め、スポーツ活動場所の有効活用を図るとともに、学校夜間照明自動点灯盤取替え工事を実施する。</p>		
--------------	--	--	--

<b>⑤取組実績</b>	<p>(1) 市民体育館においては、指定管理者による効率的・効果的な</p>		
--------------	--	--	--

管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。

また、トップライト・剣道場床改修工事を実施した。

<市民体育館利用状況>

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
団体利用	141,403 人	52,765 人	118,303 人
個人利用	53,608 人	19,642 人	49,280 人
計	195,011 人	72,407 人	167,583 人

※ 平成 25 年度は 4 月 1 日から 8 月 14 日までの実績。

- (2) 淀川河川グラウンドを開放し、市民が日常的にスポーツ活動ができる場の提供に努めた。

<淀川河川グラウンド利用状況>

	大会利用	一般利用	合計
	利用者数 (団体数)	利用者数 (団体数)	
平成 24 年度	109,600 人 (2,477 団体)	14,626 人 (492 団体)	124,226 人 (2,969 団体)
平成 25 年度	101,596 人 (2,236 団体)	14,878 人 (425 団体)	116,474 人 (2,661 団体)
平成 26 年度	114,820 人 (2,485 団体)	17,667 人 (376 団体)	132,487 人 (2,861 団体)

- (3) 野外活動センターにおいては、指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。

また、自然学習室棟屋根取替え工事を実施した。

< 野外活動センター利用状況 >

		団体		ファミリー		合計
		日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	
平成 24 年度	利用者数(人)	8,682	5,467	4,179	2,807	21,135
	利用団体(件)	132	137	318	287	874
平成 25 年度	利用者数(人)	11,524	7,004	1,970	1,185	21,683
	利用団体(件)	448	261	337	201	1,247
平成 26 年度	利用者数(人)	12,090	6,857	2,261	981	22,189
	利用団体(件)	498	269	387	177	1,331

- (4) 学校体育施設の有効活用を図り、市民が日常的にスポーツ活動ができる場の提供に努めた。

< 学校体育施設利用状況 >

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用者数	599,096 人	560,460 人	548,858 人
利用件数	17,138 件	15,473 件	16,374 件

- (5) 夜間照明設備を有する 5 中学校の協力を得て、夜間においても市民がスポーツ活動ができる場を提供するとともに、自動点灯盤取替え工事を実施した。



<学校夜間照明利用状況> (市内5か所)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	35,052人	37,693人	42,827人
利用団体数	1,147団体	1,254団体	1,410団体

⑥評価

- (1) 市民体育館については、今後も市民が安全で快適に利用できる施設環境の保持・充実を図るため、計画的に改修する必要がある。  
また、引き続き、指定管理者による管理運営を行うとともに、実績検証を実施し、適正かつ効率的・効果的な管理運営に努めていく。
- (2) 淀川河川グラウンドについては、利用団体等の協力のもと、有効的な活用を図ることができた。今後も引き続き、定期的に整備を行うなど、安全かつ適正な管理運営に努めていく。
- (3) 野外活動センターのスポーツ・レクリエーション施設については、市民が安全で快適に利用できる施設環境の保持・充実を図るため、今後計画的に改修する必要がある。  
また、引き続き、指定管理者による管理運営を行うとともに、実績検証を実施し、より適正にかつ効率的・効果的な管理運営となった。
- (4) 各学校の協力を得て、学校体育施設の有効活用を図ることができ、市民へスポーツ活動の場を提供することによって、スポーツ活動の促進を図った。今後は、民間体育施設など、その他のスポーツ施設の利用を検討していく必要がある。
- (5) 学校夜間照明において、利用者の利便性の向上を図るため、カードタイマー設備からコイン式設備を新たに導入した。